5　重点目標達成のための行動目標（アクションプラン）

＜本年度の重点目標＞　　自分の考えをもち、伝え合い、学びを深める子供の育成

前年度の課題	・学級での読み聞かせや図書委員会の取組等を通じて、本を読む楽しさや面白さを感じながら様々なジャンルの本を読んでほしい。家庭との連携を図りながら、家庭での読書の習慣を身に付けさせたい。 ・一人一人が家庭学習の内容を充実させることができるように、自主学習の内容について個に応じたアドバイスをしたり、学級全体で取組方を工夫したりする。 ・学校や家庭で挨拶やほかほか言葉を進んで使えるように習慣付けすることができた。しかし、常に使える状況にまでは至っていない。挨拶やほかほか言葉のよさを感じ、自然に言うことができるように取組を継続する必要がある。 ・保健環境委員会が中心となり、「食べたらみがく」の習慣付けに向けた取組や家庭でも意識できるような活動を行う。 ・養護教諭による歯みがき指導を継続して行い、自分に合ったみがき方を身に付け、むし歯予防へつなげる。		
具体的な達成目標 (数値目標)	・進んで家庭学習や読書をする児童が 75%以上いる。（学校評価アンケート、家庭学習がんばりカード、読書貯金等）	・学校と家庭で進んで思いやりのある言動をとったり、挨拶したりすることができる児童が 80%以上いる。(海峰ほかほか・挨拶カード、学校評価アンケート)	・朝と夕の食後に歯みがきをする児童が 90%以上いる。（学校評価アンケート）
行動Ⅰ （方策）	学年に応じて工夫が見られる自主学習ノートを紹介したり、必読図書や推薦図書を紹介して家庭での読書習慣を推進したりすることで、家庭学習や読書への意欲を高める。	生活委員会が中心となり、思いやりのある言動をとったり、自分から進んで挨拶したりすることができた児童を紹介する。「海峰ほかほか・挨拶週間」を各学期に設け、思いやりのある言動のよさを実感できるようにする。	昨年度から継続して、親子歯みがき週間や歯みがきカレンダー等を行い、歯みがきの習慣化を促す。また、保健・環境委員会の活動を通して、歯みがきの必要性や体への影響等について全校に伝え、歯みがきの必要感と意欲を高める。
中間評価	＜方策１＞	＜方策１＞	＜方策１＞
運営協議会での意見	第２回学校運営協議会（アクションプランの取組状況、中間評価報告）		
行動Ⅱ （方策と取組状況）			
運営協議会での意見	第３回学校運営行儀会（年度末評価報告）		
年度末評価 （学校関係者評価を含む）	＜方策１＞ 総合	＜方策１＞ 総合	＜方策１＞ 総合
次年度への課題			